

# 「愛知県がん対策推進計画（第2期）」の推進に関する平成27年度取組状況

## 基本方針Ⅰ：年齢・性・就労状況等に配慮したがん患者やその家族の方々の視点に立ったがん対策の推進

### 1 女性に特有のがん対策

「女性特有のがん対策専門会議（平成25年度開催）」による提言を踏まえ、**検診の受診推奨開始年齢の女性が多く所属する団体（PTA、大学）等と連携した啓発活動**や女性が検診等を受診しやすい環境づくりのための医療機関に関する情報提供等を実施。

- ・健康保険組合と共催で乳がんに関する講演会を開催予定（1回）  
H28.2.2 愛知県農協健康保険組合
- ・大学と連携して大学生対象に子宮頸がんに関する講演会を開催（2回）  
H27.7.1 岡崎女子大学、岡崎女子短期大学、参加者 75名  
H27.10.18 愛知学泉大学、愛知学泉短期大学、参加者 35名
- ・講演会実施大学、健康保険組合の他1PTA、1大学を対象に啓発資材を配布
- ・受診の際に参考となる医療機関の検診実施体制等の情報をホームページへ掲載（H27.4掲載）

### 2 小児がん対策

小児がん患者の教育（入院時の対応と退院後の復学）の現状と課題について、関係者へ理解促進を図るための研修会を開催。

また、小児がん拠点病院以外で、小児がん患者を受け入れているがん診療連携拠点病院等における診療の状況や教育支援の状況を調査

- ・小児がん患者に対する医療と復学支援講演会（H27.8.7）  
内容：小児がん専門医、特別支援学校の教諭、チャイルドライフスペシャリストによる講演  
参加者：教育関係者等、医療関係者 70名
- ・小児がん患者の復学支援研修会（H28.2.23（岡崎）、H28.2.24（名古屋））  
内容：チャイルドライフスペシャリスト、県教育委員会健康学習課指導主事による講義  
参加者：小・中学校主任養護教諭等
- ・小児がん患者の復学支援のあり方に関するアンケート調査  
調査期間：平成28年2月頃  
調査内容（案）：診療体制、教育支援、復学支援

### 3 働く世代のがん対策

「がん患者就労継続支援・がん検診促進検討会議（平成 25～26 年度開催）」による提言（平成 27 年 3 月）を踏まえ、働く世代のがん検診受診率向上やがんに関しても働きながら治療を続けられる環境づくりに向けた啓発活動を実施。

#### ①提言に基づく関係機関への働きかけ

- ・がん診療連携拠点病院等へ患者基本情報の項目に就労に関する情報を追加するよう会議説明等で働きかけ
- ・がん診療連携拠点病院等で、がん診断時に担当医から患者へ渡すカードの作成・配布
- ・がん治療と仕事を両立するための本人チェックリストの作成、周知
- ・がん患者の就労継続支援のために、本人、事業者及び担当医が情報提供で連携するための文書作成例の作成、周知
- ・提言中の「企業等に期待される役割」に補足説明等を盛り込んだ（仮称）愛知県から県内企業の皆様へ」を印刷・配布の予定

#### ②働く世代のがん対策講演会

第 1 回 H27. 10. 7

内容：がん専門医及びがん経験者による講演、フリートーク

第 2 回 H28. 3. 6 予定

内容：がん専門医による講演及び各関係者によるパネルディスカッション

### 4 がん患者・家族に対する相談支援事業

がん患者の方々と同じような経験を持つ方による相談支援を、平成 25 年度から NPO 法人への委託により実施している。平成 26 年度までは、尾張地域、三河地域で、面談による相談会を月 1 回程度開催していたが、「開催地域によって、利用出来る方が限られる」、「月 1 回程度の開催では、相談の継続性が保たれない」等の課題があった。そのため、平成 27 年度からより気軽に相談できるよう実施方法を電話相談に見直し実施。

- ・受託事業者：特定非営利活動法人ミーネット
- ・毎月 5 回（H27. 7 から開始）

### 5 愛知県がんサポートブック～患者必携：地域の療養情報～の改訂

前回の第二版発行が平成 25 年 3 月であり、掲載情報について制度改正等が行われていることから内容を更新し、改訂版（第三版）を発行。

発行時期：平成 27 年 12 月

発行部数：5, 000 部

- 掲載内容
  - ・愛知県のがん診療連携拠点病院について
  - ・セカンドオピニオンについて
  - ・緩和ケアについて
  - ・医療費に関する制度について
  - ・経済面に対する制度について
  - ・がんの治療と仕事の両立について
  - ・がん患者さんや家族の方の交流の場について

## 基本方針Ⅱ：県内どこに住んでいても病状に応じた適切ながん治療や緩和ケアを受けられるがん対策の推進

### 1 がん治療の推進等

#### (1) がん診療連携拠点病院の整備等

国が制度化しているがん診療連携拠点病院を国へ推薦し、指定を受けて地域におけるがん医療水準の向上とがん診療連携の強化を図っている。（17病院）

また、県独自に国指定制度に準じる要件をもって、がん診療拠点病院を指定して、がん診療体制の強化を図っている。（8病院）

今年度から、拠点病院が有すべき機能、各病院の診療実績及び県が掲げた目標の達成状況をホームページで公開。

- 掲載した情報
  - ・拠点病院の主な指定要件（診療機能、医療施設、人員配置等）に関する説明
  - ・がん診療連携拠点病院の診療実績（院内がん登録、手術、放射線治療、化学療法等の実績）
  - ・愛知県がん対策推進計画(第2期)における目標数値としている診療報酬に係る施設基準、医療従事者の配置等の達成状況

#### 《厚生労働大臣指定のがん診療連携拠点病院》

がんに関する手術、放射線、化学療法の集学的治療ができ、一定の診療実績があることに加え、緩和ケアや相談支援、地域の医療機関との連携等様々な要件を満たす病院で2次医療圏の拠点となる病院を、県が推薦し、国が指定。

#### 《愛知県指定のがん診療拠点病院》

国指定の拠点病院の指定要件に準じる要件（診療実績要件のみ一部緩和）を満たす病院を県が指定。

（厚生労働大臣指定、愛知県指定ともに、診療報酬の加算有り。）

## (2) がん診療連携拠点病院機能強化事業費補助金

がん診療連携拠点病院が、がん相談支援センターの運営や医療従事者への研修を実施する等の経費に対して補助金を交付。

- ・ 補助対象病院数 国指定病院のうち国から直接補助を受ける病院を除く 12 病院
- ・ 補助単価等 5,948 千円 (国 1/2、県 1/2)

### 【がん診療連携拠点病院等指定状況】

区分	国指定のがん診療連携拠点病院	県指定の愛知県がん診療拠点病院
指定期間	H27. 4. 1～H31. 3. 31	H27. 4. 1～H31. 3. 31
全医療圏	愛知県がんセンター中央病院	
名古屋	国立病院機構名古屋医療センター、 名古屋大学医学部附属病院 地域医療機能推進機構中京病院 名古屋市立大学病院 名古屋第一赤十字病院 名古屋第二赤十字病院	名古屋掖済会病院 (H27. 4. 1～H28. 3. 31(*)) 名古屋記念病院 中部労災病院 (H27. 4. 1～H28. 3. 31(*)) 名古屋市立西部医療センター(新規)
海部	愛知県厚生連 海南病院	
尾張東部	公立陶生病院 藤田保健衛生大学病院	愛知医科大学病院
尾張西部	一宮市立市民病院	
尾張北部	小牧市民病院	春日井市民病院
知多半島	半田市立半田病院(新規)	
西三河北部	愛知県厚生連 豊田厚生病院	トヨタ記念病院
西三河南部東	愛知県がんセンター愛知病院(新規)	
西三河南部西	愛知県厚生連 安城更生病院	刈谷豊田総合病院
東三河南部	豊橋市民病院	

(\*)名古屋掖済会病院と中部労災病院は、「愛知県がん診療拠点病院指定要領」の整備要件の一部を満たさなかったため、既指定病院の経過措置を適用し、1年間の指定としている。

## 2 陽子線治療普及協力事業

陽子線治療の専門家により高精度に放射線治療を行う定位放射線照射と IMRT (強度変調放射線治療) 及び陽子線治療の各々の特徴や最新の治療技術等について紹介する講演会を開催。

- ・ 講演会「高精度放射線治療の最前線」の開催  
H28. 2. 21、蒲郡市

**基本方針Ⅲ：がんの正しい知識の普及啓発・教育を通じて、がんの予防・早期発見を進めるがん対策の推進**

**1 がん検診普及啓発活動**

市町村、連携企業と協働する等して、がんの予防やがん検診の普及啓発を実施。

- ① 街頭啓発実施（H27. 5. 29、H27. 9. 19、H27. 10. 2）
- ② がん対策推進連携企業や鉄道会社における県作成ポスターの掲示等（10月）
  - ・がん対策推進連携企業：店舗等へのポスター掲示、店内放送
  - ・鉄道：ポスター掲示、車内放送、駅構内放送
  - ・県内の全市町村、保健センター等におけるポスター等におけるポスター掲示
- ③ 連携企業中心の取組の支援
  - ・お客様サイトへの啓発メッセージ掲載
  - ・がん検診受診勧奨メッセージの店内放送の実施

**2 がん検診精度管理委員会の開催**

前年度の市町村がん検診の実施結果やプロセス指標改善のための取組の状況を調査・集計し、専門家で構成する委員会における分析・検討を経て、市町村への統計情報の提供や技術的助言を実施。

- ・平成26年度の全市町村のがん検診実施結果を調査、集計
- ・名古屋市を除く全市町村のがん検診に用いている様式を収集
- ・がん検診に関する従来の課題、これまでの県の対応、改善状況を取りまとめ、胃、子宮、肺、乳、大腸の5部位の委員会に諮り、意見等を聴取。
- ・今後、年度内に委員会での意見を踏まえて、市町村への技術的助言やがん検診実施結果と精度管理指標の公表を実施の予定

**3 がん教育の充実に向けた取組（新規取組）**

保健所が実施する出前健康教育とは別に、外部講師（がん専門医等）による出前講座等を実施。

＜経緯＞

平成25～26年度：健康福祉部内及び県教育委員会との調整

平成26年度末に文部科学省が県教育委員会にがん教育の在り方に関する通知を发出

平成27年度：外部講師（がん専門医等）による出前講座等の実施について、県教育委員会との調整が整う。

- ・ 県内の全市町村教育委員会へ中学生向け出前講座希望校を募集  
⇒H28. 1. 28 に弥富市立十四山中学校にて実施  
（平成 28、29 年度：各 4 回実施予定）
- ・ 中学校保健体育担当教諭向けがん教育研修会受講者を募集  
⇒H28. 2. 5 に開催予定  
（平成 28、29 年度：各 1 回開催予定）
- ・ がん教育リーフレット（中学生向け）の作成  
⇒H27 年度中に作成し、県のホームページに掲載予定

**基本方針Ⅳ：がんの研究等を踏まえたがん対策の推進**

がんの診断治療に関する情報を医療機関から収集して、県民のがんの罹患状況を把握し、がん対策やがん研究の基礎資料とするとともに、結果を医療機関や県民に情報提供。

なお、平成 28 年 1 月診断分からは「がん登録等の推進に関する法律」に基づく「全国がん登録」として実施。

**【届出状況】**

県指定病院のがん診療拠点病院の院内がん登録の実施等により近年、届出件数は大幅に増加。

平成 27 年の届出件数：58,951 件  
参考：平成 19 年の届出件数：25,474 件

**【罹患数及び届出精度】**

医療機関から提出された届出票のデータに、死亡票のうち死因が悪性新生物のもので届出されていないものを加えて、その年の悪性新生物の罹患数を算出する。

《平成 24 年診断分の罹患数及び届出精度の状況》

罹患数	登録数	死亡票のみの数	DCN(%)
A(B+C)	B	C	C/A
41,690	36,929	4,961	11.9

DCN…がん登録の精度を表す指標で、がん罹患数のうちがん登録により把握されず人口動態調査の死亡情報により把握されたものの割合

《DCNの推移》

平 15 分	～	平 19 分	平 20 分	平 21 分	平 22 分	平 23 分	平 24 分
32.9	～	23.5	21.4	18.7	16.1	13.6	11.9